

浜通り地域の復興へ向けた脱炭素まちづくりの取り組みと今後の展開

2018年に帰還困難区域の面的除染が終了し、福島県の浜通り地域（被災12市町村）においては復興再生拠点などを中心にして、様々な復興事業が計画・展開されつつある。これらの復興においても地域資源を最大限活用しながら、脱炭素に配慮した、環境・経済・社会が好循環する特色ある地域循環共生圏の形成を目的に、環境省においても「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」が設立され、地域内外の多くの主体が共通の目標を認識しつつ脱炭素と復興の両立に向けた取り組みを後押しする支援がなされている。また一方、本学会の研究発表においても、国の政策や復興を支援する研究プロジェクトの成果報告も徐々に増えつつあり、復興に対する貢献も期待される場所である。今回の企画では、地域内外の多くの主体に目を向け、脱炭素まちづくりに対する産官学の取り組みについての情報を共有し、目標認識や相互の連携を深めて復興へのさらなる支援・貢献につなげる。

(1) 講演 (65分) 13:10-14:15

- ① 企画セッションの趣旨説明 (5分) 13:10-13:15
国立環境研究所 副領域長 倉持秀敏
- ② 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームの概要 (20分) 13:15-13:35
環境省環境再生・資源循環局 環境再生事業担当参事官付福島再生・未来志向プロジェクト推進室 主査 阿部真也
- ③ 地域バイオマスの利活用による先進的エネルギー変換技術システムの開発と実装シナリオの研究 (20分) 13:35-13:55
国立環境研究所 資源循環領域 副領域長 倉持秀敏
- ④ 自治体から見る脱炭素へ向けた課題 (研究への期待) (20分) 13:55-14:15
福島県相馬郡飯舘村 村長 杉岡 誠

(2) パネル討論 (40分) 14:20-15:00

環境省環境再生・資源循環局 環境再生事業担当参事官付 主査 阿部真也
国立環境研究所資源循環領域 副領域長 倉持秀敏
福島県相馬郡飯舘村 村長 杉岡 誠
国立環境研究所福島地域協働研究拠点 地域環境創生研究室 室長 五味 馨
司会進行 農研機構 農業環境変動研究センター 上級研究員 万福裕造